

廃棄物処理施設の維持管理に関するサウンディング型市場調査 第1回対話結果

令和8年6月26日
酒田地区広域行政組合

1. サウンディング実施の経緯

当組合が管理する一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設の次期委託契約にあたり、これまでの契約を見直すとともに、民間事業者の自由な発想や専門知識を収集するため、第1回目の公民対話（サウンディング型市場調査）を実施しました。

第1回目は、委託範囲（業務内容）、委託期間、契約形態、業務の再委託、契約条件、入札参加資格並びに懸念事項等について対話を行いました。

2. サウンディング結果の概要

当組合で次期委託契約の委託範囲を提示し、対話した結果（民間事業者からの意見等）は、次のとおりです。

対話項目	対話概要
①委託範囲について	<ul style="list-style-type: none">・提示された包括的民間委託（性能発注）で問題ない。・これまでの契約での委託料は安価。・修繕費が十分ではないように思われる。・責任所掌が明確にできない場合、ユーティリティの業務除外も検討が必要だと考える。
②委託期間について	<ul style="list-style-type: none">・遂行判断により、単年でも複数年でも参画は可能。・技術者の配置等を考慮すると、雇用の安定性を考慮し、複数年での契約が望ましい。・10年以上程度の長期契約が望ましい。
③契約形態について	<ul style="list-style-type: none">・単独やJV（ジョイントベンチャー）、再委託など、柔軟に対応できる。・JVでの参画を考えている。
④再委託について	<ul style="list-style-type: none">・再委託ができることが望ましい。
⑤契約条件について	<ul style="list-style-type: none">・近年の情勢や長期契約であることを踏まえ、物価変動条項があることが望ましい。・法令変更や税制度の変更については、適切なリスク分担が望ましい。

対話項目	対話概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不可抗力によって発生する費用等は発注者の負担が望ましい。 ・ プロフィットシェアおよびロスシェアは双方のリスク回避が可能となるため有効だと考える。 ・ 設備の状況等がわからないため、プロフィットシェアは現時点では判断が難しい。
⑥入札参加資格について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同種同規模施設における運転管理業務を元請として受注し、完了した実績があることが望ましい。 ・ 廃棄物処理施設技術管理士（最終処分場）の有資格者を配置することが望ましい。 ・ 類似の下水道処理施設などの運転管理実績があることが望ましい。 ・ 緊急時に即時対応できる企業であることが望ましい。
⑦懸念事項等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の老朽化が進行していると思われることから、老朽化に伴うリスクはこれまでどおり発注者で負担するのが望ましい。 ・ 運転員の常駐配置の検討も必要だと考える。 ・ 緊急時の対応に係る労務費等は、別途協議が望ましい。

※参加事業者の名称や特定につながる情報、独自のノウハウ、知的財産に関する情報等については、公開対象から除外しています。

3. サウンディング結果を踏まえた今後の予定

今回のサウンディング調査を通じて、浸出水処理施設の維持管理業務について、包括的民間委託の導入が可能であるとの見通しが得られました。

今後は、第1回対話においていただいた貴重なご意見等を踏まえ、公募条件（要求水準書およびリスク分担のあり方等）の具体化に向けた検討および第2回対話を進めてまいります。